

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成30年11月22日 (2018.11.22)

【公開番号】特開2017-70635(P2017-70635A)
【公開日】平成29年4月13日 (2017.4.13)
【年通号数】公開・登録公報2017-015
【出願番号】特願2015-201328(P2015-201328)
【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

A 6 1 B 3/14 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月5日 (2018.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検眼を撮影するための撮影光学系と、

前記撮影光学系と一部の光路を共有し、前記被検眼に内部固視灯を投影するための投影光学系と、

前記撮影光学系の光路に配される光学部材を切り換えて前記被検眼の撮影倍率を変更する撮影倍率変更手段と、

前記撮影倍率の変更に応じて前記内部固視灯の前記被検眼に投影される表示様式を変更する変更手段と、を有することを特徴とする眼科装置。

【請求項 2】

前記撮影倍率変更手段により切り換えられる前記光学部材は、前記撮影光学系と前記投影光学系とに共有される光路に配され、

前記変更手段は、前記撮影倍率に変更される前に前記内部固視灯が前記被検眼に投影された際の表示様式となるように、前記内部固視灯の表示様式を変更し補正する手段であることを特徴とする請求項 1 に記載の眼科装置。

【請求項 3】

前記変更される表示様式は、前記被検眼に投影される前記内部固視灯の大きさ及び移動量の少なくとも何れかであることを特徴とする請求項 2 に記載の眼科装置。

【請求項 4】

前記変更手段は、前記撮影倍率が高倍率に変更された場合に、前記変更された倍率に応じて前記内部固視灯の大きさを大きく変更することを特徴する請求項 3 に記載の眼科装置。

【請求項 5】

前記変更手段は、前記撮影倍率が高倍率に変更された場合に、前記変更された倍率に応じて前記内部固視灯の移動量を大きく変更することを特徴する請求項 3 又は 4 に記載の眼科装置。

【請求項 6】

前記撮影倍率変更手段により切り換えられる前記光学部材は、前記撮影光学系と前記投

影光学系とに共有される光路に配され、

前記変更手段は、前記撮影光学系とは共有されない前記投影光学系の光路に配されて、前記撮影倍率変更手段によって変化した前記被検眼に対する前記内部固視灯の表示様式を補正する補正用光学部材を変更する手段であることを特徴とする請求項 1 に記載の眼科装置。

【請求項 7】

前記撮影倍率変更手段により切り換えられる前記光学部材は、前記投影光学系とは共有されない前記撮影光学系の光路に配され、

前記変更手段は、前記撮影光学系とは共有されない前記投影光学系の光路に配されて、前記撮影倍率変更手段によって変化した前記被検眼に対する前記内部固視灯の表示様式を補正する補正用光学部材を変更する手段であることを特徴とする請求項 1 に記載の眼科装置。

【請求項 8】

前記撮影倍率変更手段により切り換えられる前記光学部材は、前記投影光学系とは共有されない前記撮影光学系の光路に配され、

前記変更手段は、前記撮影光学系とは共有されない前記投影光学系の光路に配される合焦用の光学部材の合焦状態を変更する手段であることを特徴とする請求項 1 に記載の眼科装置。

【請求項 9】

被検眼を撮影するための撮影光学系と、

前記被検眼に内部固視灯を投影するための投影光学系と、

前記撮影光学系と前記投影光学系が共有する光路上に光学部材を着脱する着脱手段と、

前記光学部材が装着されたときに前記光学部材の特性を検出する検出手段と、

前記検出された光学部材の特性に応じて前記内部固視灯の表示様式を変更する変更手段と、
を有することを特徴とする眼科装置。

【請求項 10】

前記光学部材の特性は前記被検眼を撮影する撮影倍率であることを特徴とする請求項 9 に記載の眼科装置。

【請求項 11】

前記変更される内部固視灯の表示様式は前記内部固視灯を前記被検眼に投影する際の前記内部固視灯の大きさであることを特徴とする請求項 9 又は 10 に記載の眼科装置。

【請求項 12】

前記変更される内部固視灯の表示様式は前記内部固視灯を前記被検眼に投影する際の前記内部固視灯の移動量であることを特徴とする請求項 9 乃至 11 の何れか一項に記載の眼科装置。

【請求項 13】

被検眼を撮影するための撮影光学系と、

前記被検眼に内部固視灯を投影するための投影光学系と、

前記撮影光学系の光路上に配置された光学部材と第一の光学部材とを切り換える第一の切換手段と、

前記投影光学系の光路上に配置された光学部材と第二の光学部材とを切り換える第二の切換手段と、

前記第一の光学部材に切り換えた時に前記第一の光学部材の特性に応じて前記第二の光学部材への切り換えを行うことで前記内部固視灯の前記被検眼に投影する際の表示様式を変更する変更手段と、

を有することを特徴とする眼科装置。

【請求項 14】

前記第一の光学部材は撮影倍率を変更するレンズであることを特徴とする請求項 13 に記載の眼科装置。

【請求項 15】

前記第二の光学部材は前記第一の光学部材の特性を相殺する補正レンズであることを特徴とする請求項 13 又は 14 に記載の眼科装置。

【請求項 16】

被検眼を撮影するための撮影光学系と、

前記撮影光学系と一部の光路を共有し、前記被検眼に内部固視灯を投影するための投影光学系と、を有する眼科装置の制御方法であって、

前記撮影光学系の光路に配される光学部材を切り換えて前記被検眼の撮影倍率を変更する工程と、

前記撮影倍率の変更に応じて前記内部固視灯の前記被検眼に投影される表示様式を変更する工程と、を有することを特徴とする眼科装置の制御方法。

【請求項 17】

切り換えられる前記光学部材は、前記撮影光学系と前記投影光学系とに共有される光路に配され、

前記撮影倍率を変更する工程において、前記撮影倍率に変更される前に前記内部固視灯が前記被検眼に投影された際の表示様式となるように、前記内部固視灯の表示様式が変更されることを特徴とする請求項 16 に記載の眼科装置の制御方法。

【請求項 18】

請求項 16 又は 17 に記載の眼科装置の制御方法の各工程をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。